

# 週間情報

No. **0825**

発行：全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcj.gr.jp/>

## 目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

### 両 会 の 動 き

- ◆ 第78回全国消防長会総会の審議結果に基づく要望活動の実施について  
[全国消防長会](#)
- ◆ 「令和8年度通信・指令職員研修会」を開催  
[福井県消防長会（福井）](#)

### 消 防 本 部 の 動 き

#### ▽行 事

- ◆ 「災害時における消防活動の協力に関する協定」を締結  
[茨城西南広域消防本部（茨城）](#)
- ◆ 消防用ホース格納箱の寄贈式を実施  
[高山市消防本部（岐阜）](#)

#### ▽訓 練

- ◆ 事業所と合同で火災防ぎょ訓練を実施  
[田川地区消防本部（福岡）](#)
- ◆ 水難救助合同訓練を実施  
[羽生市消防本部（埼玉）](#)

#### ▽研 修

- ◆ 管理職員研修を実施  
[東近江行政組合消防本部（滋賀）](#)

#### ▽その他

- ◆ 消防協力者に消防総監感謝状を贈呈  
[東京消防庁（東京）](#)
- ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈  
[岸和田市消防本部（大阪）](#)
- ◆ 消防協力団体（4団体）に感謝状を贈呈  
[丹羽広域事務組合消防本部（愛知）](#)
- ◆ 住宅用火災警報器の普及促進に係る広報イベントを実施  
[鳥取中部ふるさと広域連合消防局（鳥取）](#)
- ◆ 感震ブレーカーの普及・啓発に向けて企業と連携  
[川口市消防局（埼玉）](#)

▽消防庁通知等

- ◆ 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律施行令附則第四項の表PFOS又はその塩の項、PFOA若しくはその異性体又はこれらの塩の項、ペルフルオロオクタン酸関連物質の項又はPFHxS若しくはその異性体又はこれらの塩の項に規定する消火器、消火器用消火薬剤及び泡消火薬剤に関する技術上の基準を定める省令の一部を改正する省令の施行に伴う留意事項について（通知）  
*(消防消第240号、消防予第264号、消防危第147号、消防特第112号、令和8年6月17日)*
- ◆ 「市街地火災延焼シミュレーション」の導入に係るオンライン説明会の開催について  
*(事務連絡、令和8年6月18日)*
- ◆ 「リチウムイオン電池総合対策ポータルサイトの開設について」  
*(消防予第266号、令和8年6月22日)*

▽報道発表

- ◆ 「リチウムイオン電池総合対策ポータルサイト」の公開  
*(令和8年6月18日、消防庁)*
- ◆ 消防分野におけるAI導入マッチングイベントの開催  
*(令和8年6月22日、消防庁)*

▽情報提供

- ◆ 横浜市消防局における令和9年度長期（1年間）職員研修の受け入れについて  
*横浜市消防局（神奈川）*
- ◆ 「第35回全国救急隊員シンポジウム」一般演題の募集  
*一般財団法人救急振興財団*

「公式 X」を開設!!

~あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け~

フォローはこちら



X(旧 Twitter)登録用二次元コード

## 両会の動き

### ◆ 第78回全国消防長会総会の審議結果に基づく要望活動の実施について

#### 全国消防長会

令和8年6月26日（金）、総務省などにおいて、市川会長、上山財政委員会委員長から林総務大臣などに対して、第78回全国消防長会総会の審議結果に基づく要望を実施しました。

実施当日は、堀内総務副大臣、原総務事務次官、大沢消防庁長官、古川衆議院総務委員会委員長、吉川参議院総務委員会委員長、古屋自由民主党消防議員連盟会長、山口自由民主党消防議員連盟幹事長などに直接お会いし要望書を手渡しました。

- 1 第78回全国消防長会総会決議に基づく要望
- 2 令和9年度国の予算概算要求に関する要望



【堀内総務副大臣に対する要望の様子】



【原総務事務次官に対する要望の様子】



【大沢消防庁長官に対する要望の様子】



【吉川参議院総務委員会委員長に対する要望の様子】



【古屋消防議員連盟会長に対する要望の様子】



【山口消防議員連盟幹事長に対する要望の様子】

## ◆ 「令和8年度通信・指令職員研修会」を開催

### 福井県消防長会（福井）

福井県消防長会（通信分科会）では、令和8年6月5日（金）、鯖江・丹生消防組合消防本部において、「令和8年度通信・指令職員研修会」を開催しました。

この研修は、当県内の各消防本部（局）において通信・指令業務に携わる職員を対象に、119番通報における対応技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、各消防本部（局）から2人ずつの職員が参加し、火災や救急の事案を想定した119番通報の対応訓練を行いました。

訓練では、通報時における緊急度や重症度の判定内容を評価し、フィードバックを交えて知識と技術の共有を図りました。

また、研修後には福井県警察本部の通信担当職員を交えた意見交換会を実施し、緊急通報時における両機関の円滑な情報共有体制について確認しました。

今後も、関係機関との連携を強化し、さらなる災害対応力の向上に努めてまいります。



【研修の様子】

## 消防本部の動き

### ▽行事

## ◆ 「災害時における消防活動の協力に関する協定」を締結

### 茨城西南広域消防本部（茨城）

茨城西南広域消防本部では、令和8年6月15日（月）、古河市役所において、一般社団法人茨城県建設業協会境支部および常総支部と「災害時における消防活動の協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、消防力のみでは対応が困難となる消防・救助活動や大規模災害などの発生に備えるため、両支部が有する重機・資機材や専門技術を迅速に活用できる体制を整備し、円滑な活動を実施することを目的として締結したものです。

また、この締結により平常時から相互の連携を深め、災害対応力の向上につながることも期待されます。

今後は、情報共有の強化に加え、合同訓練や現場の状況に即した実践的な連携訓練を継続的に実施し、協力体制のさらなる充実を目指してまいります。



【締結後の記念撮影】

[目次に戻る](#)

## ◆ 消防用ホース格納箱の寄贈式を実施

### 高山市消防本部（岐阜）

高山市消防本部では、令和8年6月17日（水）、宝興建設株式会社から消防用ホース格納箱の寄贈を受け、寄贈式を実施しました。

式典では、同社の上木代表取締役から「自身や従業員も消防団員として大変お世話になっている。地域防災基盤の向上に役立てていただきたい」とのお言葉とともに目録が手渡され、消防長から感謝状を贈呈しました。

今後も、この格納箱を有効に活用し、地域防災基盤の向上に役立ててまいります。



【寄贈式の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

## ▽訓練

### ◆ 事業所と合同で火災防ぎょ訓練を実施

### 田川地区消防本部（福岡）

田川地区消防本部では、令和8年6月8日（月）、複数の危険物施設を有する位登産業株式会社敷地内において、同社と合同で火災防ぎょ訓練を実施しました。

この訓練は、危険物安全週間に伴い、危険物施設における災害対応時の連携および保安体制の強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「石灰石を高温で焼成するメルツ炉（一般取扱所）が異常燃焼を起こし、火の粉が周囲の屋外タンク貯蔵所に飛び火・延焼し、高所に要救助者が取り残されている」との想定で実施しました。

危険物施設での火災は、広範囲への延焼による被害の拡大や、危険物の流出による二次災害、事案の長期化など、多くのリスクが懸念されます。

今後も、こうした合同訓練を通じて、さらなる安全管理の徹底に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 水難救助合同訓練を実施

### 羽生市消防本部（埼玉）

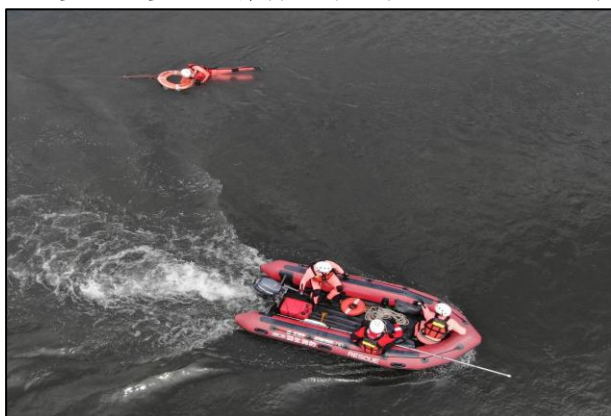
羽生市消防本部では、令和8年6月11日（木）、管内を流れる利根川とその河川敷において、館林地区消防組合消防本部および行田市消防本部と水難救助合同訓練を実施しました。

この訓練は、利根川における水難事故発生時の救助活動体制の充実・強化を進めるとともに、関係機関が連携した活動を展開することで、災害対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、ドローンを活用した要救助者の検索訓練や、舟艇を活用した連携救出訓練などを中心とした実践的な訓練を行いました。

訓練を通じて各機関が情報共有や役割確認を行い、連携体制の強化を図るとともに、互いの顔が見える関係づくりにもつながる充実した内容となりました。

今後も、出水期に備えて関係機関との連携を一層強化し、救助技術の向上に努め、市民の皆さまの安全・安心の確保に取り組んでまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

## ▽ 研 修

### ◆ 管理職員研修を実施

#### 東近江行政組合消防本部（滋賀）

東近江行政組合消防本部では、令和8年6月10日（水）、11日（木）の2日間、管理職員研修を実施しました。

この研修は、管理職員の役割を再確認するとともに、部下の相談に乗る際、離職に関する悩みや、ささいな出来事の中に隠れた本音を引き出すスキルを磨くことを目的として実施したものです。

当日は、座学で管理職員として果たすべき役割や基本事項の整理を行ったほか、対話の手法として「1ON1（ワン・オン・ワン）ミーティング」の基本構造と進め方を学びました。

また、受講者が上司・相談者・観察者の3役に分かれて、実際の1ON1ミーティングを実践しました。

参加した職員からは「実践することで自身の対話や傾聴スキルを見直す良いきっかけになった」などの感想が聞かれました。

今後も、地域住民の安全・安心を確保し、消防組織の使命を着実に果たしていくため、管理職員が責任と役割を自覚し、確かな判断と適切なマネジメントの実践に努めてまいります。



【研修の様子】

## ▽その他

### ◆ 消防協力者に消防総監感謝状を贈呈

#### 東京消防庁（東京）

東京消防庁北多摩西部消防署では、令和8年5月25日（月）、消防協力者に対して、消防総監からの感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年4月5日（日）、武蔵村山市で発生した建物火災において、火元建物の近くに住む消防協力者の男性が、火災発生に気付くと直ちに現場に駆け付け、居住者2人を救助したものです。

男性は、燃え盛る建物の玄関先にいた居住者を安全な位置に移動させたほか、2階ベランダで逃げ遅れていた居住者を確認し、自宅のはしごを搬送してベランダに立てかけ避難させ、2人を無事に救助しました。

贈呈後、男性は「とっさの行動でしたが、命の大切さを改めて感じました」とご自身の行動を振り返っていました。

生命の危機に瀕した状況における消防協力者の迅速かつ的確な勇気ある行動により、2人の尊い命が救われたことに対し、心から敬意と感謝の意を表します。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

### ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

#### 岸和田市消防本部（大阪）

岸和田市消防本部では、令和8年6月8日（月）、消防協力者の5人（1人欠席）に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年4月25日（土）、市内の飲食店において、食事中に喉に異物を詰まらせ心肺停止状態となった70歳代の男性に対し、居合わせた消防協力者の5人が協力して、迅速な119番通報、詰まっていた異物の除去、心肺蘇生を行ったものです。

消防協力者5人の勇気ある行動により、当該男性が無事に社会復帰されたことに対し、心から敬意と感謝の意を表します。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

## ◆ 消防協力団体（4団体）に感謝状を贈呈

### 丹羽広域事務組合消防本部（愛知）

丹羽広域事務組合消防本部では、令和8年6月15日（月）、消防協力団体（4団体）に対して感謝状を贈呈しました。

丹羽ライオンズクラブからは、幼年消防クラブ員が火災予防運動で着用する防火法被130着をご寄贈いただき、地域の防火意識の向上に大きく貢献していただきました。

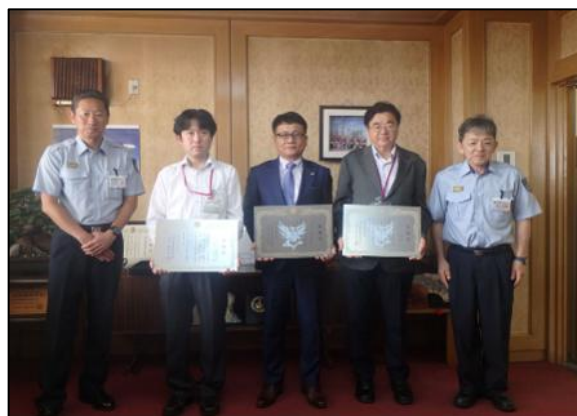
また、イオンリテール株式会社イオン扶桑店およびイオンモール株式会社イオンモール扶桑からは、長年にわたり幼年消防クラブの鼓隊による演奏の会場提供にご協力いただき、地域住民への火災予防の普及に大きく寄与していただきました。

さらに、マックスバリュ東海株式会社マックスバリュ扶桑店からは、買い物レシートを活用した広報活動に継続的なご協力をいただき、利用客の皆さまへの防火・防災意識の高揚につなげていただきました。

今後も、地域の安全・安心を住民の皆さまに実感していただけるよう、引き続き防火・防災啓発に努めてまいります。



【感謝状】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

## ◆ 住宅用火災警報器の普及促進に係る広報イベントを実施

### 鳥取中部ふるさと広域連合消防局（鳥取）

鳥取中部ふるさと広域連合消防局では、令和8年5月31日（日）、「倉吉パークスクエア」において、住宅用火災警報器（以下「住警器」という）の普及促進に係る広報イベントを実施しました。

これは、当消防局が今年度から創設した「住警器の日（毎年6月1日）」にちなみ、住警器の重要性を広く住民に啓発し、普及促進を図ることを目的として実施したものです。

当日は、住警器の展示コーナー、煙の中で鳴動音を聞く体験コーナー、住警器に関する相談コーナーなどを展開し、多くの来場者の方に住警器の重要性を呼びかけました。

今後も、継続して啓発活動を実施し、住警器の設置率向上および管内住民の防火意識の向上を図ってまいります。



【イベントの様子】

## ◆ 感震ブレーカーの普及・啓発に向けて企業と連携

### 川口市消防局（埼玉）

川口市消防局では、令和8年6月15日（月）、「日東工業株式会社」（本社：愛知県長久手市）が取り組んでいる感震ブレーカーデモ機の開発に協力しました。

これは、地震時の電気火災対策として有効な感震ブレーカーの普及・啓発を推進することを目的として実施したものです。

同社が製作したデモ機を当消防局の起震車でテストした結果、設定した震度5強の揺れで正常に作動することが確認され、有効な啓発資材としての活用が実証されたことから、全国の消防機関向けに同デモ機を製作していただくことが決定しました。

今後も、同デモ機を活用して市民に感震ブレーカーの必要性を伝え、設置促進につなげる取り組みを進めてまいります。

なお、同デモ機に関する仕様や取り扱いについては、「日東工業株式会社」（市場開発課 shutoken-5@nito.co.jp）にて案内されています。



【起震車による作動試験の様子】



【感震ブレーカーデモ機】

## 国等の動き

### ▽消防庁通知等

- ◆ 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律施行令附則第四項の表P F O S又はその塩の項、P F O A若しくはその異性体又はこれらの塩の項、ペルフルオロオクタン酸関連物質の項又はP F H x S若しくはその異性体又はこれらの塩の項に規定する消火器、消火器用消火薬剤及び泡消火薬剤に関する技術上の基準を定める省令の一部を改正する省令の施行に伴う留意事項について（通知）

（消防消第240号、消防予第264号、消防危第147号、消防特第112号、令和8年6月17日）

消防庁消防・救急課長、消防庁予防課長、消防庁危険物保安室長、消防庁特殊災害室長から各都道府県消防防災主管課、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管課あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律施行令附則第四項の表P F O S又はその塩の項、P F O A若しくはその異性体又はこれらの塩の項、ペルフルオロオクタン酸関連物質の項又はP F H x S若しくはその異性体又はこれらの塩の項に規定する消火器、消火器用消火薬剤及び泡消火薬剤に関する技術上の基準を定める省令の一部を改正する省令（令和8年総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省令第1号）が令和8年6月12日に公布され、令和8年6月17日に施行されました。

これに伴い、留意事項を下記のとおり取りまとめましたので、その運用に十分に留意されるようお願いいたします。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260617\\_yobou\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260617_yobou_1.pdf)) に掲載されています。

（連絡先）

消防・救急課	鈴木係長・高野事務官	（TEL：03—5253—7522）
予防課	加藤係長・新田事務官	（TEL：03—5253—7523）
危険物保安室	山田係長・藤ヶ崎事務官	（TEL：03—5253—7524）
特殊災害室	和泉係長・嶋田事務官	（TEL：03—5253—7528）

◆ 「市街地火災延焼シミュレーション」の導入に係るオンライン説明会の開催について  
(事務連絡、令和8年6月18日)

消防庁消防研究センター、消防庁消防・救急課から各都道府県消防防災主管課、各消防本部、非常備町村消防防災主管課あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

消防庁消防研究センターの研究開発業務の推進につきましては、平素より格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和7年11月18日に発生した大分市大規模火災を踏まえ、各地域においては、「大分市大規模火災の教訓を踏まえた今後の消防防災対策の推進について」（令和8年3月27日付消防庁次長通知）を踏まえ、消防防災対策を推進いただいているところです。また、各消防本部においては、「密集住宅市街地における火災防ぎょ計画の見直し等について」（令和8年3月27日付消防消第92号・消防広第159号。以下「防ぎょ計画通知」という。）を踏まえ、火災防ぎょ計画の見直し等を進めていただいているところです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/zimurenraku-260618-syoukenn-syoukyuu.pdf>) に掲載されています。

(問い合わせ先)	消防研究センター 千葉、小澤
	TEL：0422-44-8331 (代表)
	Email： <a href="mailto:nrifd-k@soumu.go.jp">nrifd-k@soumu.go.jp</a>
	消防庁消防・救急課 高木、鈴木
	TEL：03-5253-7522 (直通)
	Email： <a href="mailto:shoukyuu@ml.soumu.go.jp">shoukyuu@ml.soumu.go.jp</a>

◆ 「リチウムイオン電池総合対策ポータルサイトの開設について  
(消防予第266号、令和8年6月22日)

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

近年、リチウムイオン電池に起因する火災が増加しており、モバイルバッテリーやスマートフォン、電動アシスト自転車用バッテリー等、日常生活において広く普及している製品による発火・発煙事故が全国的に発生しています。

消防庁では、こうした状況を踏まえ、関係省庁（消費者庁、経済産業省、国土交通省及び環境省）と連携し、リチウムイオン電池による事故を防ぐために必要な情報や、適切な廃棄方法等に関する情報を集約した「リチウムイオン電池総合対策ポータルサイト」を開設しました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/77eddf3b082fcbdc753edb7f678f80c3a687b34f.pdf>) に掲載されています。

【問い合わせ先】
消防庁予防課 谷川 清水
TEL：03-5253-7523 (直通)
Email： <a href="mailto:yobouka-y@ml.soumu.go.jp">yobouka-y@ml.soumu.go.jp</a>

## ▽報道発表

### ◆ 「リチウムイオン電池総合対策ポータルサイト」の公開

(令和8年6月18日、消防庁)

リチウムイオン電池の発火や発煙などの事故を防ぐための情報や、適切な廃棄方法に関する情報などを一元的に発信します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/7a7f05c49d3cd2b7130be2636bd7e45b60d46c04.pdf>) に掲載されています。

#### 【問い合わせ先】

消防庁予防課 川合 谷川 清水

TEL : 03—5253—7523 (直通)

Email : yobo\_atmark\_ml.soumu.go.jp

※ スпамメール対策のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

### ◆ 消防分野におけるAI導入マッチングイベントの開催

(令和8年6月22日、消防庁)

消防庁では経済産業省と連携し、生成AIの持続的な開発力の向上と社会実装の加速を目的としたプロジェクト「GENIAC※1」との協働のもと、消防分野における初めてのAI導入マッチングイベントを開催することといたしましたのでお知らせします。

消防庁では、令和8年3月に策定した「消防技術戦略ビジョン※2」を踏まえ、重点分野として、「AIの活用による高度な判断支援」及び「ロボット・ドローンの活用による活動可能範囲の拡大」を推進しているところです。(※1および※2省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/d45c4855b56307a7448b26c102e1e2bf7602762b.pdf>) に掲載されています。

#### < 担当 >

消防庁技術戦略室

中嶋 ・ 関 ・ 佐々木 ・ 勝田

TEL : 03—5253—7541

Mail : gisei2\_atmark\_ml.soumu.go.jp

※ スпамメール対策のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

## ▽情報提供

### ◆ 横浜市消防局における令和9年度長期（1年間）職員研修の受け入れについて 横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局では、令和9年度長期（1年間）職員研修の研修生を募集いたします。

この研修は、全国各消防本部の職員の皆さまを対象として、当消防局に派遣される職員の能力開発を図るとともに、当消防局がこれまでに実施してきた各種施策や成果事例を共有し、各消防本部における今後の施策展開に役立てていただくことを目的としています。

加えて、人口減少などにより社会環境が大きく変化する中、市民・社会の要請に的確に応え続ける組織であるために、「創造と転換」による職員の人材育成や、組織の活性化が不可欠です。

本研修をこうした背景を踏まえた「新たな視点」で事業を推進していく機会にしたいと考えています。

今回、受け入れを実施するのは、横浜市消防局本部の各課となります（アンケートフォームに各課のセールスポイントを掲載しています。）。

なお、令和7年度長期職員研修として派遣いただきました方々（弘前地区消防事務組合、藤沢市消防局）から1年間の経験談などをいただいておりますので、各課のセールスポイントと併せてご覧ください。

#### 【受入可能課一覧と経験談】



(<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/b9e84577-94ee-4107-8e29-a38bc85afdb6/start>)

本研修の募集は、11月に開始する予定です。募集開始の際、改めてお知らせいたします。

#### 1 申込受付期間

令和8年11月1日（日）から令和9年1月29日（金）まで

#### 2 申込方法

様式は問いません。

希望業務内容および希望理由について記載し、電子メールにて、送付してください。

今回募集する研修生につきましては、研修に係る業務経験を有する【消防司令補以下職員】とします。

#### 3 研修期間

令和9年4月1日（木）から令和10年3月31日（金）まで

#### 4 研修中の身分、給与、旅費など

(1) 研修期間は、横浜市消防局の職員に併せて任命し、研修終了後に解任するものとします。

(2) 研修中の給与は、派遣元消防本部が支給し、当消防局の公務上の必要により旅行する場合の旅費については、当消防局が規定に基づき支給します。

(3) 研修期間中の住まいとして、横浜市の待機宿舎（職員寮）を希望することも調整可能です。

#### 5 その他

疑義がございましたら、以下の担当までお問い合わせください。

横浜市消防局 総務部人事課人事係  
担当：中野、木下  
電話：045-334-6660  
Mail：sy-jinji@city.yokohama.lg.jp

◆ 「第35回全国救急隊員シンポジウム」一般演題の募集

一般財団法人救急振興財団

第35回全国救急隊員シンポジウム（横浜市消防局・救急振興財団共催）の一般演題を次のとおり募集いたします。

◎ 開催日 令和9年2月4日（木）・5日（金）の2日間

◎ 会場 パシフィコ横浜 会議センター（神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1）

【募集期間】令和8年6月1日（月）から7月31日（金）正午まで

※ 募集期間の延長は行いませんのでご注意ください。

【応募資格】消防職員を対象とします。

【募集演題】

分類・テーマ	
救急 需要 対策	(1) 救急安心センター事業(#7119)に関する事
	(2) 119番通報時や救急現場での緊急度判定に関する事
	(3) 搬送困難事例への対応（頻回利用、精神科等）に関する事
	(4) 一般負傷や疾病の予防等に関する事
	(5) 超高齢社会における救急業務の対策に関する事
	(6) 救急搬送の増大の要因分析・対策に関する事（日勤救急隊等）
	(7) 救急隊員の労務管理に関する事
連 携	(8) 関係機関（医療機関、福祉、民間、行政等）との連携（転院搬送含む）に関する事
	(9) メディカルコントロール協議会との連携（救急活動プロトコルの検討等を含む）に関する事
	(10) ドクターカー・ドクターヘリとの連携に関する事
教 育	(11) 指導救命士に関する事
	(12) 通信指令（口頭指導、通信指令員の救急に係る教育等を含む）に関する事
	(13) 救急隊員教育（再教育含む）に関する事
活 動	(14) 救急活動に関する事（内因性）
	(15) 救急活動に関する事（外因性）
	(16) 救急活動に関する事（妊婦・小児対応）
	(17) 現場活動における各種連携に関する事（ポンプ隊・救助隊との連携、救急救命士複数名乗車による活動体制等）
	(18) 処置範囲拡大に関する事
	(19) テロ災害、CBRNE災害、多数傷病者事故に関する事
	(20) 自然災害、大規模災害に関する事
	(21) 特異症例に関する事（新型コロナウイルス感染症等を含む）
	(22) 救急隊の感染防止対策に関する事
	(23) 外国人対応に関する事
そ の 他	(24) 応急手当普及啓発（e-ラーニング、講習時間短縮等の普及促進対策を含む）や応急手当講習（一次救命処置の実践的な講習等）に関する事
	(25) 調査・研究（統計含む）に関する事
	(26) 救急資器材（管理を含む）に関する事
	(27) 救急業務におけるDXに関する事（ICT、AI、マイナ救急、ワンストップ連携等含む）
	(28) 将来の救急業務や救急需要推計を見据えた救急隊の体制（編成）に関する事
	(29) 各消防本部における救急業務の取り組みに関する事
	(30) その他

[目次に戻る](#)

**【募集演題数】**

259演題（予定）

**【応募方法】**

第35回全国救急隊員シンポジウムホームページアドレス「[https://www.knt.co.jp/ec/2027/99sympo\\_35/](https://www.knt.co.jp/ec/2027/99sympo_35/)」の「一般演題募集」の「演題登録はこちら」から必要事項を記入し登録してください。

※ ホームページに掲載の「一般演題募集要項」に同意の上、ご応募ください（要項の条件を満たさないものは選考の対象外となります）。二次元コードからもアクセスいただけます。



（第35回全国救急隊員シンポジウムホームページの二次元コード）

**【選考について】**

全国救急隊員シンポジウム運営委員会委員長により推薦された、医師および消防関係者で構成される「査読委員会」において選考を行い、選考結果については、9月下旬頃に演題登録時に記入するメールアドレスへ電子メールで通知します。

**【優秀演題発表について】**

第35回全国救急隊員シンポジウムでは、演題の選考にあたり特に優秀と認められたものについて、「優秀演題発表」としてご発表いただく機会を設けております。優秀演題として採択された方については別途ご案内いたします。

**【その他】**

シンポジウムの開催および一般演題募集の詳細につきましては、上記ホームページをご参照ください。

**【お問合せ先】**

一般財団法人救急振興財団  
事務局総務部企画調査課  
〒192-0364 東京都八王子市南大沢4丁目6番地  
TEL: 042-675-9931  
FAX: 042-675-9050  
Mail: [sinpo@fasd.or.jp](mailto:sinpo@fasd.or.jp)

## 消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

### 【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

### 【留意事項】

・配信日(原則火曜日)から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。

・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】:「週間情報」担当・企画課 中西 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>  
に投稿願います。



## 機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間にも共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・**トップ・セカンド記事** 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要(企画案)を提出

・**消防ワイド** 写真中心の自由投稿 文章:Word100字程度/写真:JPEG1枚

【問合せ】:企画課・吉田 TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事:[kikakeikaku@fcj.gr.jp](mailto:kikakeikaku@fcj.gr.jp) 消防ワイド:[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)

※添付 5MB 超は分割送信



## 消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

- あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。
- 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。
- ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、全国消防長会ホームページを検索!!!



## 全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

- 全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設しました。フォローをお願いします。令和8年度から定期刊行物(会報・ほのお・週間情報 ※週間情報は既に公開中)をホームページ上で公開することに伴い、「X」を通じて掲載情報などを素早くお届けします。フォロー(アカウント登録)していただくことにより、各消防本部の先進的な取り組みや本会の取り組みなど多くの情報をお届けいたします。



フォローはこちら



X(旧 Twitter)登録用二次元コード

